

現 状

- ✓ 平成2（1990）年度以降、青年の船交流事業（※1）においては、「**につぼん丸**」（商船三井クルーズ）を使用（※2）。
 - ※1 「東南アジア青年の船」事業及び「世界青年の船」事業。
 - ※2 平成21（2009）年度から平成24（2012）年度までは、「につぼん丸」の大改装に伴い、「ふじ丸」（商船三井客船（当時））を使用。
- ✓ 「につぼん丸」は**令和8（2026）年5月に運航終了予定**。

課 題

- ✓ 日本船社保有の**外航クルーズ客船の大型化**に伴い、従来と比べて傭船価格が大幅に上昇する見込み。
- ✓ 同じ年度に2つの事業を実施することは**困難**な状況。
- ※ 青年の船事業で使用する船舶は毎年度一般競争入札により調達。

【参考】近年の1日当たりの傭船料の推移（単位：万円）

R1	R5	R6	R7
996.3	1584.6	1321.3	1696.9

契約額を日数で除して算出

当面の対応方針

- ✓ 1つの事業に集中的に資源を投下し、**令和8（2026）年度**に、第50回の節目を迎える「**東南アジア青年の船**」事業を、**令和9（2027）年度**に、「**世界青年の船**」事業を、それぞれ実施する。
- ✓ 令和8年度予算において、青年の船交流事業経費として**12.5億円（対前年度1.2億円増）**を計上。
- ※ 上記方針については、内閣府青年国際交流事業の組織であるIYEO（日本青年国際交流機構）、ASEAN各国政府、「東南アジア青年の船」同窓会の国際組織（SI）、「世界青年の船」同窓会の国際組織（SWYAA国際連盟）に伝達済み。

参 考

令和7年度 青年国際交流事業 予算 1,378,680千円 うち、青年の船交流事業 予算 **1,137,222千円**

令和8年度 青年国際交流事業 予算 1,502,082千円 うち、青年の船交流事業 予算 **1,251,690千円**

※ 令和7年度は「東南アジア青年の船」事業と「世界青年の船」事業の2事業。令和8年度は「東南アジア青年の船」事業のみ